

秀 賞

忘れないココロ

福島県白河市立白河第二中学校

三年 矢作 百花

制作中の絵が思うように進まず悩んでいた日々。再び筆が進むようになったキツカケは同じく「絵」でした。

今年の七月下旬。五月から制作している絵を彩色していました。しかし、何度色を重ねてもうまくいかず、私の手はついに止まってしまいました。まだ下塗りしか、全面の彩色はしておらず完成まで長い道のりがあります。そうわかっていても、うまくいかない絵を前に筆を手をすることができずにいました。難しい高い高い壁を越えるためには、挑戦することが大切です。しかし、失敗してしまったときの不安や絵の完成度を考えると、怖くて怖くて描けませんでした。絵での挫折は初めてのことで、どうしたらよいのかわからないということも、不安な気持ちを高めていました。

それから数日後。祖母にある提案をされました。

「明日、東京の美術館に行こう。」

突然のことでも驚きましたが、祖母にそんな提案をされるのは初めてのことで、祖母には何か考えがあるのかもしれない。そう思い、私は東京の美術館に行くの二回目のことなので、以前見た絵に再会

できる喜びで胸がいっぱいでした。

翌日。東京に着くとムワツとした夏の熱気に包まれました。頭上の木からは、たくさんの虫の鳴き声がかきこえます。しばらく歩くと、久しぶりに見る美術館が姿を現しました。館内に入ると、一転して冷氣が満ちていました。私と祖母は、常設展と特別展を見学し次の美術館に向かうことにしました。その場所では、強い感銘を受けることになるのです。そのときの気持ちは、今でも忘れません。

筆が進むキツカケは、突然に訪れました。作品を半分以上見終え、次の作品を見ようと思いい足を進めたとき、視界に飛び込んできた絵に衝撃を受けました。その絵は少し離れた場所にありましたが、私は少しも迷うことなくその絵の前行きました。その絵は、「クロード・モネのルーアン大聖堂、正面」でした。様々な美術書で見るとに刺激を受け、いつか生で見たいとずっと願っていたものです。クロード・モネは、十九世紀後半の印象派を代表する画家。そして、印象派という名前の由来である「日の出・印象」を描いた画家でもあります。数々の素晴らしい作品の中で、私は「ルーアン大聖堂、正面」に最も心惹かれていました。思いがけないタイミングでその絵に出会えた私の胸は、歓喜していました。一日を通して角度を変える太陽の光をとらえ、雨風を受けた石の肌触りを感じさせられるモネの技術。その技術を前にして、私は圧倒されます。他の作品を見るために私は場所を離れましたが、全ての作品を見終えたとき、あの感動をどうしても忘れられず、再び「ルーアン大聖堂、正面」の元へ向かいました。再び視界に飛び込んできた、目を離すことができないその絵。ちょうど絵を見ている人は私ひとりでした。絵の正面に立って近づいたり遠のいたり、じっくり鑑賞することができたので、私は嬉しくて仕方

がありませんでした。実際に見てわかる絵がもつチカラ。それを、改めて実感した私は、朝とは何かが違っていました。確実に得たものがあるのです。

家に帰ると、真つ先に筆を手に入れました。今日受けた刺激を忘れないうちに、どうしても絵を描きたかったのです。慣れない土地に、体は疲れていましたが、心はチカラがみなぎっていました。やはり、難しい高い高い壁を越えるために挑戦するのは、とても怖いことでもあります。しかし、自分が納得する絵を描くためには、絶対に避けられない道です。勇気・挑戦・努力の必要性をあの絵が私に教えてくれました。

難しいことに挑戦するのは、私に限らず誰だって負の気持ちを抱えて、同時に強い信念を持ちます。挑戦が成功に変わるためには、多くの努力と強い気持ちが必要です。印象派を世に広めた画家、クロード・モネがあの絵を描いたのは、一八九四年のこと。いつの時代だって、努力することは大切なことなのです。大きな事を成しとげるためには、大変なことでもがんばらなければなりません。

「もういいや。」

なんて言わずに、もう少しだけがんばってみませんか。努力した分だけ結果は変わります。今回、私にチカラをくれたのは「絵」でしたが、家族、そして友達も大きなチカラをくれます。努力することは無駄なことだと思っていないませんか。必ずしも結果に結びつくものではありませんが、がんばった分だけ、未来は拓けるはずです。私にチカラをくれた「絵」。今度は私が誰かのチカラになるために、努力する心を、私は忘れません。

作文を書くに当たって

私は幼い頃から絵を描くことが好きでした。本格的に絵を描こうと思ったきっかけは、中学校の美術の先生に出会ったことです。たくさん美術書を見せてもらうなかで、目にとまった画家が「クロード・モネ」でした。当時、印象派が定着していなかったなか、自分の描き方で絵に挑戦し続けたモネへのあこがれの気持ちを書きました。